



小川小学校

小川小日記



HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

今年も感謝の12月

校長 佐久間 義久



師走も中日となり、2学期も残すところ1週間。師走の師は「お坊さん」のことと言われていますが、学校の（教）師も走り回る頃となりました。そして、年の瀬となれば大掃除。今週来週と期末大清掃を3回に分けて行います。遠目に見ればピンク色のきれいな校舎も42年目となり、あちこち痛みが見られます。それでも

感謝の気持ちを込めて丁寧な掃除を重ねれば、まだまだきれいに使えます。

掃除と言えば、今春気付いたことに、小川の子どもたちには、掃除開始5分前には掃除場所に向かう態度が身に付いているということです。掃除は隔日ですが、掃除開始が早い場所によっては、13:15頃に掃除が始まります。「早いね。」と言うと「5分前です。」と言われたことがあります。天気の良い日に外で思いっきり遊んでいても、時計を見て早めに切り上げ掃除へ向かいます。遊びに夢中で遅れました、という姿を見ることはほとんどありません。もはや、これも一つのよい伝統だと思える程です。創立100年史を紐解くと、こんな一説があります。

「朝日の子らに流れる伝統の力」

「朝日の子どもは確かに働き者であった。」

「少々きついことにも耐える心と体をもっていた。」

「野性的で勤労はいとわなかった。」（昭和50年頃の小川小職員の手記より）



何回かの統合を経て現在の小川小学校がありますが、どうやら、館腰地域、三面地域、きっと朝日地域に脈々と根付く気質だと思える昨今です。

☐ 図書ボランティアさんの活動が始まります ☐

先月、小川小学区のご家庭にお配りしました。「図書ボランティア募集チラシ」に**10人の皆様**からご応募いただきました。本当にありがたいことです。

ICT化が世の中の潮流となり、活字離れをよく耳にする昨今ですが、読書による心の栄養は何にも代えがたいものです。どんぐりの会による読み聞かせの時間は、誰もが気持ちを落ち着けて耳を傾けます。職員も楽しく拝聴。素敵な時間です。素敵な環境で素敵な本を選べる、そんな環境が続くようにと思います。



「鮭の塩引きづくり」を体験しました

11月29日（水）に、4年生が総合の学習で恒例の塩引きづくりをしました。講師の石井郁子様、渡辺朋範様、そしてボランティアの皆様にご助けをいただきながら、楽しく貴重な体験をすることができました。

鮭のワタを取ることはしませんでした。大きな鮭に触るのは初めての子も多く、大変興味深い様子で、一生懸命ぬめりを取り、塩を刷り込んでいました。これを機会に伝統の「村上の鮭」に興味をもち、伝統をつないでいく人になってもらいたいものです。



育てた蚕の繭玉を使って生き物を作ったよ

今年度、3年生は総合の学習で蚕を育てました。その蚕が作った繭玉を使って、いろいろな生き物を作りました。朝日シルクフラワー制作工房の渡辺恵子様に作り方を教えていただきながら、自分で書いた設計図や見本作品を参考にしながら、予め染色しておいた繭玉を切ったり貼ったりして、楽しく作っていました。基本的な作り方は教わったのですが、各自が切り方や貼り付け方を工夫して、次々とかわいい生き物を作っていく子どもたちの発想力の豊かさに驚きました。それぞれが思いのこもった作品ができたので、たくさんの人に見てもらいたいものです。



あいさつ運動の幟旗を配付しました

各集落で挨拶運動や交通安全運動の時に使えるようにとの願いを込めて、小川小学校後援会が右図のような幟旗を作りましたので、集落に数本ずつ配付させていただきました。区長様にはご足労いただきありがとうございます。この時期は寒くてなかなか外であいさつをする機会はないと思いますが、暖かくなってきたらぜひ地域の皆様と子どもたちで元気な挨拶を交わし、明るい笑顔を魅せてほしいと願っております。今後、どうぞ地域で活用していただけますようお願いいたします。

